

## 急性心筋梗塞と診断された患者さんへのお知らせ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた情報の記録に基づき実施する研究です。このような研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（平成 26 年 12 月 22 日）」により、対象となる患者さんのお一人おひとりから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開するとともに、参加拒否の機会を保障することとされています。この研究に関するお問い合わせ、また、ご自身の診療情報が利用されることを了解されない場合は、以下の問い合わせ先にご連絡ください。

### 1. 研究課題名

心臓リハビリテーションが脂肪酸代謝に与える影響についての検討

### 2. 実施責任者

産業医科大学医学部第 2 内科学 教授 尾辻 豊

### 3. 研究期間

平成 28 年 3 月～平成 31 年 2 月

### 4. 研究の背景・目的・意義

研究目的) 心臓リハビリテーションの継続が血中多価不飽和脂肪酸に与える影響を比較・検討すること。

背景) n-3 系多価不飽和脂肪酸の 1 つであるエイコサペンタエン酸 (EPA: eicosapentaenoic acid) は魚に多く含まれ動脈硬化の進展を抑える働きがあると言われていています。一方 n-6 系多価不飽和脂肪酸の一つであるアラキドン酸 (AA: arachidonic acid) は植物油や動物性脂肪に多く含まれ、炎症や高血圧、動脈硬化の原因の一つと言われていています。運動療法が脂質代謝に好影響を及ぼすことは広く知られていますが、運動療法と血中多価不飽和脂肪酸の関係についてのまとまった報告は多くはありません。そこで、心臓リハビリテーションの継続が血中多価不飽和脂肪酸に与える影響を比較・検討する研究を行います。

### 5. 研究の方法

平成 24 年 5 月より平成 31 年 2 月までに、当施設の第 2 内科で急性心筋梗塞患者に対して冠動脈インターベンション治療を行った急性心筋梗塞患者さんを対象として、最初の入院時と再狭窄の有無を調べるための 6-8 カ月後のカテーテル検査入院時の多価不飽和脂肪酸のデータや心臓エコー検査を比較します。

### 6. 個人情報の取り扱い

あなたの個人情報は、分析する前にカルテや試料の整理簿から、住所、氏名、生年月日を削り、代わりに新しく符号をつけ、あなたとこの符号を結びつける対応表は本学個人識別情報管理者の管理の下で研究実施責任者が厳重に管理し、あなたの個人情報の漏洩を防止します。このようにあなたの個人情報を連結可能匿名化することにより、研究者が個々の解析結果を特定の個人に結びつけることができなくなります。ただし、解析結果についてあなたに説明する場合など、個々の情報を特定の個人に結びつけなければならない場合には、本学個人識別情報管理者の管理の下でこの符号を元の氏名に戻す作業を行い、結果をあなたにお知らせすることが可能になります。

### 7. 連絡先

産業医科大学医学部第 2 内科学講師 荒木 優

電話番号 (093-603-1611) 内線 2432